



**消防団員としても、  
活動しています！**

平成30年度 第3回定例会(9月14日)

思い起こせば今年は災害の多い年です。6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨災害、8月の台風21号、そして9月の北海道いぶり東部地震、またこの夏の災害的な猛暑もそのひとつです。こういった未知の脅威を前に、われわれは経験から学び、教訓を生かして、防災減災に繋げていくことが大切かと考えます。

一中地区における防災備蓄

地元地域である第一中学校の周辺地域でも、高齢者や被災された場所柄、指定避難所でなく、地域の公民館等に避難する方がいらっしゃると思います。しかし、地元自治会が公民館等で備えている備蓄だけでは十分でない可能性も考えられます。食糧や毛布等の備蓄に関しては、市では指定避難所に防災倉庫を整備し備蓄しています。食糧や水については、一箇所当たり一律に700人の避難者を想定し、1日分に相当する量を備蓄しているほか、毛布等の生活用品についても相当数をストックしています。これらの備蓄品は、基本的には市の指定避難所で使用することを前提に備蓄しているものですが、地域の避難所で備蓄品に不足が生じているような場合には、これらを融通して補うほか、外部から寄せられた支援物資を配分すること

地元地域では、桃井小学校をはじめ、第一中学校、城南小学校が二次避難所の指定を受けておりますが、二次避難所の開設までの流れは、避難所ごとに予め2名ずつ避難所参集職員を指名しており、避難所の鍵を保有するようにしております。地震では震度5強以上を観測した場合に、また灾害の場合には避難情報を発令する時点で、避難所参集職員が担当する避難所に向かい、避難所を開設する体制をとっています。

つまり一次避難所においては、職員がくるわけではなく、自分たちで門扉を開け、一時的に留まる場であり、当然に体育館や校舎へ入れるわけではありません。二次避難所においても職員の方がくるまでは同様の対応となることから、避難所開設までタイミングに動いて頂くようお願いするところに、発災時が夜間や悪天候時のことも考慮されることから、避難されてきた方が安心して過ごせるようお願いします。

わたし自身も防災士として「災害は起  
こらないでなく、起こるもの」であると  
考えております。近年の大規模な都市直  
下地震の中では阪神淡路大震災が挙げら  
れます。しかし、死亡原因として最も多かつた  
のが家具の転倒や建物の倒壊による「圧  
死」でした。実際に77%の方がこれにより  
お亡くなりになられたわけですが、これ  
は平成28年の熊本地震でも、先の北海道  
地震も同様の原因で死傷された方がおり  
ます。過去の災害の経験から、災害時に  
は地域住民同士の共助によって救命され  
る場合が多くあります。建物が倒壊して  
しまった場合には、ジャッキやバーの  
準備が必要であると考えます。

自主防災会においては、防災訓練経費  
補助金を行つておりますが、先の電源も  
そうですが、ジャッキやバーにおいて  
も、備蓄の案内をしていただけるようお  
願いします。

物資供給の拠点としての機能を有するほか、災害対策本部から伝達された情報の発信、また地域情報収集の拠点としての役割も担うことになります。

高齢者ははじめ、避難行動要支援者の方も自宅はもちろん、近隣の公民館や公園などに避難している方も多數いるので、できるだけ多くの方に支援が届くようなシステムとなるようお願いします。

総合防災マップでも一次避難所と二次避難所とで分けて掲載しておりますが、それぞれの役割は理解しつつも、市民の方からは「災害発生時に二次避難所に避難してはいけないのか」「夜間等、二次避難所は解錠空されているのか」「一次避難所より二次避

## ④ 停電時の避難所の運用

今回の北海道いぶり東部地震では、道内全域で停電が発生し、多くの被災者が不安や不便を感じたとの報道がありました。本市ではすべての指定避難所の防災倉庫の中に、電池で駆動可能な懐中電灯やランタンを備えているほか、カセット式のガスボンベで駆動する小型発電機を配備しており、本部との連絡調整用機器や照明等の電源として活用することとしています。被災者は不安の中、灯りがあることで、安心させることができます。また、電源は灯りに限らず、携帯電話等の充電でも必須となります。昨今は、災害対応型LPガスバルク供給システムなどもあります。まず、電源確保に配慮頂けるようよろしくお願いします。

## 下半期 活動報告

先日の西日本豪雨災害では、倉敷市直備町で、ハザードマップと浸水区域ほぼ合致したと聞きました。市で今回更新したハザードマップによると、風水害時第一中学校地域では、城南小学校が浸水想定区域に含まれていますので、指定避難所としては開設することができません。従いまして、近くの浸水しない避難所に逃げていただくことになります。

中地区における防災対策を要望!  
総務常任委員会の副委員長となり、

## 前橋駅での帰宅困難者対策

The diagram illustrates the third measure for addressing complaints. It consists of two photographs of a residential street. The left photograph shows a dirt road with houses in the background under a clear blue sky. A large white arrow points from this image to the right. The right photograph shows the same street, but the dirt has been replaced by a smooth asphalt surface, with the same houses and clear sky visible.

# 下半期 活動報告

問い合わせ : t.hajime@almond.ocn.ne.jp

議員って普段、なにしてるの？ つつみはじめ 

